

金城学院中学校

野々垣慎治 教諭

中学生のころから理科に興味を持ち、またすばらしい先生との出会いから今の道へ進んだと話す野々垣先生。

現在は理科の教師として、生徒たちが宇宙や自然、科学に興味を持てるような授業展開に取り組んでいらっしゃいます。また陸上部の顧問として熱心に指導するかたわら、広報担当として金城学院のすばらしさを内外に伝える活動も行われています。こうした授業や活動を通して「キリストの教えを胸に、豊かな心で品位のある女性になってほしい」と日々指導をされています。



何事にも興味を持ち、人間関係を築き
豊かな心と品位を持った女性になってほしい

野々垣慎治教諭／東京理科大学理工学部物理学科卒業後、同大学理工学研究科物理学専攻修士課程修了。金城学院高等学校の理科の講師を務め、1988年より高等学校の専任になり11年間教鞭をとったのち、1999年から中学校の教諭になる。企画広報室長を4年務め、現在、教務課長。名古屋中央教会会員。

科学者と教師の二つの夢を抱く

中学生のころから理科や数学が好きで、中でもアニメの中で知った「アインシュタインの相対性理論」って何だろうと興味を持ったのがきっかけとなり、将来は科学者になって、人間の科学はどこまで進んでいるのか研究しようと思っていました。

また一方で、中学時代にすばらしい先生に出会い、「先生のような教師になりたい」と憧れも抱いていました。特に思い出深いのは、自転車通学だった生徒たちを集め、夏休みに鳥取砂丘までサイクリング旅行へ連れて行ってくださったことです。生徒たちのために学びも遊びも一生懸命していただいたことや楽しいふれあいの中で、教師への夢も持つようになったのです。科学者と教師、二つの夢を抱きながら、大学では原子核物理を研究しました。

こうした中、中学生のころから通いはじめた教会で「人に伝える使命」という話を聞き、「研究室で1日机と向かい合うより、人とふれあう仕事がしてみたい」と思いはじめ「将来はキリスト教の学校で教えることができれば」と考えるようになりました。そのあと縁あって金城学院で教鞭を執ることになったのです。

生徒たちのやる気や熱意に励まされることも

最初は高校で11年間理科を教えました。教師になって8年が過ぎたころに理系コースができたので、早朝から物理の補習を行うなど生徒たちの積極的な学びにできる限り応えられるよう努力しました。こうして理系の大学へ進んだ生徒たちが、卒業後、いろいろな分野で活躍しているのを聞くことが嬉しいです。

中学校に異動してからは、陸上部の顧問を任されました。当初は同好会としてスタートしましたが、生徒たちから「県大会に出たい」「合宿をしたい」という声が上がリ、生徒たちの



学生時代の研究風景(右)

熱意に応えて、部に昇格することができました。陸上は中学から本格的にはじめる子が多く、練習次第ではどんどん実力がつきます。実際に昨年、一昨年と県大会に出場した生徒もあり、その躍進ぶりに目を見張る思いです。

練習は自主性を重んじ、生徒たちが考えたメニューについて私がアドバイスを加えて行っています。生徒たちはみな「早く上手になりたい」と練習熱心。自分のほうが励まされることも多く、あらためて金城学院の生徒たちの素直でひたむきな姿に感動を覚える日々です。

授業や部活以外では、6年前から4年間広報担当としての仕事も行っており、広報活動を通して金城学院が外の方からどのように見られているかを知ることができました。そのことを金城学院の先生方にお伝えするのが広報担当としての大切な責務だと思っております。また本校の先生方が授業以外でも生徒たちのためにさまざまな活動をしていらっしゃることを再認識することもできました。広報

活動にかかわって本校の内外についての視野を広げることができ、このことを今後役に立てていこうと思いません。

キリストの教えを胸に 豊かな心で品位ある女性に

中学時代は知識の研鑽とともに何事にも興味を持つことがまず大切だと思います。そのため授業も、生徒たちが自然や科学に興味を持てるように工夫して進めています。気をつけているのは、生徒たちが「何がわからないのか」を理解すること。生徒たちの表情を見ながら状況に応じて授業の進め方を変えるなど、きちんとわかることで「理科はおもしろい」と思ってもらえるように日々心がけています。

こうした学びと同時に、部活を通して縦や横との人間関係も築いてほしいと思います。卒業後も強い絆で結ばれるのはこの金城学院のすばらしいところの一つです。ぜひ中学時代にこのつながりを築き、大切にしたいと思っています。

また、中学、高校の6年間を通して毎朝キリストの礼拝を受けることも、将来必ず心の支えになると思います。つらいことがあってもキリストの教えや先生、友人たちの言葉を思い出してさまざまなことに挑戦してほしい。いつも豊かな心で、品位のある女性として生きていってほしいと願っています。



野々垣先生はどんな人!?

陸上部の3年生の皆さんに、野々垣先生の印象を伺いました。すると「生徒思いでいつも熱心」「常に前向きで一生懸命」「一緒に走ってくれたり、優しく指導してくれる」などの声が聞かれました。また「いつも場を和ませてくれる」「陸上部にとって大切な先生!」などの声も。野々垣先生と生徒たちの明るく楽しい会話からも、先生がとても慕われ、尊敬されている様子が窺えました。